

# ATENAの取り組みについて (特に優先的に取り組む案件)

2026年3月27日  
原子力エネルギー協議会  
(ATENA : Atomic Energy Association)

- 2025年8月27日の「原子力規制委員会とATENA上層部との意見交換」で提示した、ATENAで優先的に取組む案件（11件）及びその後の状況変化を踏まえて追加した2件に係る取り組みについて説明する。
- 同意見交換では、「中長期的な視野を持った安全性向上－原子力発電の持続的活用に向けた安全性向上に係る取り組み」を重点活動項目の一つとして挙げたが、この達成のためには、**合理的、効率的な安全性向上が不可欠**と認識している。
- その観点から、優先的に取組む案件のうちでも、特に**リスク情報活用、安全性向上評価届出を含む許認可制度等の見直し、規格基準類の早期エンドース**に向けた取り組みに注力していく。
- また、先般発覚した中部電力の不適切事案は、原子力産業への信頼を損ねる重大な事案であるが、ATENAとしては、これを事業者の安全確保に係る活動全体を見直す機会と捉え、その改善に努めていく。



# ATENA検討案件のうち特に優先的に取り組む案件

案件	2026年度					2027年度			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<p>◆規格基準類の早期エンドースに向けた産業界の取り纏めと原子力規制庁との連携</p>	<p>▶学協会が策定した規格を規制側が技術評価・エンドースする仕組みは効率的な審査に繋がるものと認識。</p> <p>▶学協会による規格の策定が計画通りに行われることが前提となるが、事業者が必要とする時期に技術評価が行われるよう、体制の確保等をお願いしたい。</p>					<p>継続して意見交換実施、エンドースされたものから順次適用予定</p>			
<p>◆PWR1次系ステンレス鋼配管粒界割れの知見拡充</p>	<p>▶3/5の公開会合にて、これまでの知見拡充等の成果を踏まえ、被ばく低減も考慮して、検査頻度見直すことについて説明。</p> <p>▶なお、本件に係る検討状況も踏まえて判断することとしていた長期サイクル運転についても、一定の範囲内で実施の見通しが付いたものと認識。</p> <p>▶事業者において準備が整い次第、所要の手続きを進めていく。</p>					<p>2025年度研究結果報告</p> <p>意見交換会合（検査頻度見直し）</p> <p>準備が整い次第、長期サイクル運転に係る保安規定変更申請等を実施予定</p>			

# ATENA検討案件のうち特に優先的に取り組む案件

案件	2026年度					2027年度			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<p>◆革新軽水炉の導入に向けた取り組み</p> <p>                     ▶意見交換の結果を踏まえ、事業者、メーカーと連携しながら議論の結果を標準プラントの基本設計に反映していく。                      ▶なお、コアキャッチャについては、予見性を得るためにさらなる議論が必要と認識していることから、今後も引き続き意見交換を実施できる場を設定いただきたい。                 </p>									
<p>◆米国標準技術仕様書(STS)の保安規定等への反映に向けた取組み</p> <p>2028年度以降に申請開始すべく、準備が整い次第、CNO意見交換等の場で議論させていただきたい。</p>									

意見交換会合

継続的な意見交換  
(コアキャッチャ)

== == == == == == ==

米国STSに対する国内運用との比較検討

保安規定反映事項検討

保安規定条文案作成

2028年度以降に申請開始

# ATENA検討案件のうち特に優先的に取り組む案件

案件	2026年度					2027年度			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<p>◆<b>運転中保全</b></p> <p>▶これまでの意見交換での議論を経て、安全に実施できる準備は整ったものと認識。 ▶今後は事業者による実機への導入フェーズに入り、ATENAとしてはその状況をフォローしていく。</p>	<p>現場実証（伊方、大飯）</p> <p>■ 規制上の取扱いの検討</p> <p>====</p> <p>== 実機への導入 ==</p>								
<p>◆<b>SA設備の導入等を踏まえた保安規定の改善</b></p> <p>▶現在一部の社で衛星電話等のLCOに係る変更認可申請済み。 ▶他設備も含めたSA設備等全体のLCO設定の考え方について、ATENAで整理の上、準備が整い次第、意見交換させていただきたい。</p>	<p>保安規定の変更認可申請（衛星電話等の一部機器）</p> <p>▼申請（東京・関西） 他事業者については、準備が整い次第、順次申請</p> <p>▼CNO意見交換</p>								
<p>◆<b>EAL（緊急時活動レベル）の見直しへの対応</b></p> <p>▶継続して意見交換実施中。 ▶公衆防護のためのより実効的なEALの設定に向け、ATENAとしても積極的に意見提示していく。</p>	<p>意見交換実施後、順次適用予定</p> <p>=====》》</p>								

# ATENA検討案件のうち特に優先的に取り組む案件

案件		2026年度					2027年度				
		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
<b>◆燃料高度化の促進</b>											
10×10燃料	ATENAとして、10×10燃料導入に係る審査状況およびATFの被覆管照射試験等の状況をフォロー中。	型式証明審査(A型)		TRACコード・評価手法の 比°加ルポ°ト審査(A型)		比°加ルポ°ト審査後、設置許可(A型)申請(時期未定)					
		型式証明(B型)申請(時期未定)									
事故時耐性燃料 (ATF)		米国にてCrコーティング被覆管の照射試験中					照射挙動の評価 (PWR 1 サイクル照射相当)		照射挙動の評価 (PWR複数サイクル照射相当)		



# ATENA検討案件のうち特に優先的に取り組む案件

案件	2026年度					2027年度			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<p><b>◆研究及び研究開発に向けた原子力規制庁との技術的な意見交換</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク情報活用：「HRA(人間信頼性解析)」「地震PRA」</li> <li>・経年劣化：「PFM（確率論的破壊力学）評価の実用化」「代替試験法の整備」「BWR Ni基合金のSCC」「PWR炉内機器の長期健全性」</li> <li>・新規テーマ選定に向けた意見交換</li> </ul>									
<p><b>◆浜岡原子力発電所の基準地震動策定に係る不適切事案の対応について</b></p>									

▶有益な意見交換となっているものと認識。  
 ▶引き続き意見交換を実施させていただきたい。

各案件について適宜NRAと情報交換

▶これまでの取り組みや現在実施中の取り組みに加え、今後の調査結果等を踏まえ、さらなる改善に向けた取り組みを実施していく。  
 ▶ATENAとしては、今回の事案が、原子力事業を営むうえでの根幹である安全文化の劣化から生じたものであることを重く受け止めており、関係機関（JANSI、電事連）と連携しつつ、特にその点についての改善に注力していく。

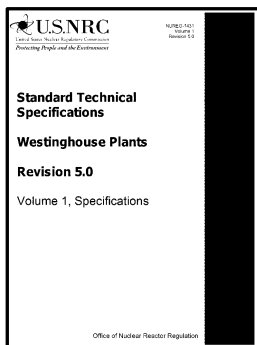
基準地震地震動策定に関する共通課題の抽出および共通プロセス・手順の策定検討

安全文化・品質保証に関する共通課題の抽出および共通プロセス・手順の策定検討

▽NRA報告徴収期限

- 米国の標準技術仕様書（STS）は、日本の保安規定に相当する文書である。
- STSは、LCO、逸脱時の措置、AOT、サーベイランス等のリスク情報活用に関する内容も含め、これまで多岐にわたる改正（最新版はrev.5：2021年9月発刊）が行われており、これらの変更内容を把握し、保安規定へ反映させることは、更なる安全性向上に繋がる。
- 上記を踏まえ、**ATENAは2021年に検討体制を構築**し、rev.5と保安規定の比較および反映事項の検討を進めている。
- 保安規定への反映案が**整い次第、意見交換させて頂きたい**。

## STS原文



## STSrev.5と保安規定との比較検討



＜安全性向上に資するもの等の取込みを検討＞

- ・LCO等の追加変更
- ・リスク情報を用いたAOT変更
- ・サーベイランス頻度管理プログラム 等